

---

# 市民懇談会

～みんなで創る「こがねい」の未来～

## 報告書

---

令和6年 12 月

小金井市

# 目次

1. 概要	1
1.1. 目的	1
1.2. 日時	1
1.3. 開催場所	1
1.4. 出席者	1
1.5. テーマ	1
2. 当日の実施内容	2
2.1. プログラム	2
2.2. 開会挨拶	2
2.3. 小金井市の概況説明	3
2.4. ワークショップ	3
2.4.1. ワークショップの流れ	3
2.4.2. ワークショップ詳細	5
2.5. 閉会挨拶	8
3. ワークショップの実施結果	9
3.1. 意見の一覧	9
3.2. 各意見の詳細	10
4. 参考資料	20
4.1. 集合写真	20
4.2. グラフィックレコーディング	20
4.3. 募集チラシ	21

# 1. 概要

---

## 1.1. 目的

本ワークショップは、以下を目的として実施しました。

- ・ 幅広い年代の市民から小金井市についての意見を収集することで、「第5次基本構想・後期基本計画」策定のインプットとする。
- ・ 市民参加を促進し、計画に対する理解と協力を得る。

## 1.2. 日時

令和6年10月26日(土)13時00分～16時00分

## 1.3. 開催場所

小金井市 市民会館 萌え木ホール

## 1.4. 出席者

【ワークショップ参加者】16名

【傍聴】1名

## 1.5. テーマ

- ①市のいいところや改善点を話し合う
- ②市の「課題」と「理想の未来」をもとに必要となる「施策」を考える

## 2. 当日の実施内容

### 2.1. プログラム

当日は以下の流れに沿って実施しました。



図表1 当日の流れ

### 2.2. 開会挨拶

開会にあたり、白井市長から開会挨拶及び本ワークショップの目的についての事前説明を行いました。



図表2 開会挨拶の様子

## 2.3. 小金井市の概況説明

現行計画である「第5次基本構想・前期基本計画」を基に、計画の体系や市民参加の手法等について説明しました。



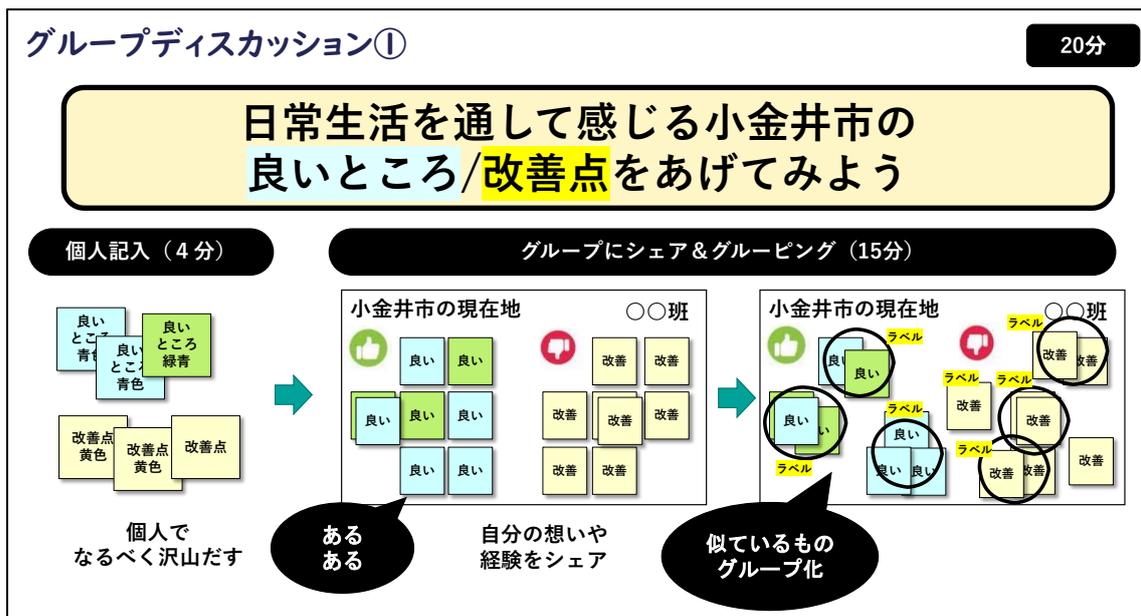
図表3 概況説明の様子

## 2.4. ワークショップ

小金井市の概況説明の後、ワークショップを実施しました。ワークショップでは1班あたり3～4名の5班に分けて、班毎にグループディスカッションを行い、最後に発表を行いました。ワークショップの流れと、それぞれの詳細内容は以下のとおりです。

### 2.4.1. ワークショップの流れ

ワークショップは進め方の説明から始まり、グループディスカッション①では、個人ワークを通じて考えた意見について、班内でディスカッションをした後、中間発表を行いました。グループディスカッション②では、①を踏まえ、個人ワークを行い、再度班内でディスカッションをした後、最終発表を行いました。



図表4 グループディスカッション①

### グループディスカッション②

お題

チーム毎に小金井市前期基本計画を参考にしながら**グループテーマ**を決めてください。  
 テーマの例：**分野3 子どもと教育**

そのテーマに対する**「課題」と「理想の未来」**の因果関係を発見しギャップを埋める**「実施アイデア」**を考えましょう。

17

図表5 グループディスカッション②

### ワークショップ アウトプットイメージ

実施アイデア

実施アイデア

施策体系カード

実施アイデア	実施アイデア
施策体系カード	
実施アイデア	実施アイデア

図表6 グループディスカッション② アウトプットイメージ

## 2.4.2. ワークショップ詳細

### (1) ワークショップの進め方の全体説明

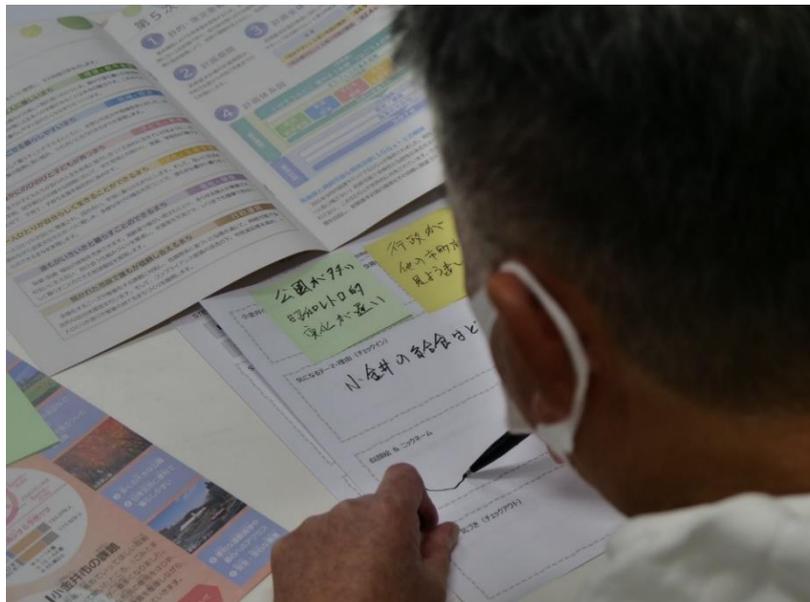
ワークショップの進め方についての全体説明を行いました。ワークのテーマやワーク時のグラドルールなどの確認を行いました。



図表7 全体説明の様子

### (2) 自己紹介・テーマの決定

最初のワークとして、アイスブレイクを兼ねた自己紹介を行いました。ワークシートを用いて、「小金井市の良いところ・改善してほしいところ」「気になるテーマ・理由」や「似顔絵・ニックネーム」を各人で記入した後、班内で自己紹介を行いました。



図表8 自己紹介シート記入の様子

(3) グループディスカッション①

個人ワークであげた、日常生活を通じて感じる「小金井市の良いところ/改善点」を班内で共有しました。その後、中間発表に向け、各班でアイデアを整理しました。



図表9 グループディスカッション①の様子

(4) 中間発表

グループディスカッション①のまとめとして、「小金井市の良いところ/改善点」について班で話し合った結果を発表しました。



図表10 中間発表の様子

(5) グループディスカッション②

グループディスカッション①を踏まえ、小金井市の「課題」と「理想の未来」、「課題」と「理想の未来」のギャップを埋める「施策」を個人ワークで考え、班で意見交換を行いました。最終発表に向け、各班で発表内容や資料のまとめを行いました。



図表 11 グループディスカッション②の様子

(6) 最終発表

ワークショップの最後のまとめとして、小金井市の「課題」と「理想の未来」、そのギャップを埋める「施策」について話し合った結果を班毎に発表しました。



図表 12 最終発表の様子

## 2.5. 閉会挨拶

閉会にあたり、神山副市長から閉会挨拶及び本ワークショップの振り返りを行いました。



図表 13 閉会挨拶の様子

### 3. ワークショップの実施結果

ワークショップをとおして、小金井市に関する多くの意見が出ました。各班が話し合った内容や発表した意見は以下のとおりです。

#### 3.1. 意見の一覧

各班より出された意見を表形式でまとめました。出された意見は、それぞれ現行計画である「第5次基本構想・前期基本計画」の施策の体系に基づき、分野毎に整理しました。

##### 【意見集約表】

		第5次基本構想・前期基本計画 施策体系					
		1	2	3	4	5	6
		環境と都市基盤	地域と経済	子どもと教育	文化と生涯学習	福祉と健康	行政運営
1班							
①	地域活性化のための企業誘致		●				●
②	人気向上のためのイベント開催・情報発信		●		●		●
③	交通環境の整備と景観向上	●					●
2班							
①	施設運営の工夫による学校環境の改善	●		●	●		●
②	地域との交流増加によるつながり強化			●	●		●
3班							
①	異文化交流の促進による外国人にも優しいまちづくり			●	●		●
4班							
①	地域コミュニティの活用による学び場づくり			●	●	●	
②	世代共通の学習テーマの発掘による交流促進			●	●		
5班							
①	税収増加による行政サービスの向上	●	●				●
②	分配(ヒトモノカネ)の見える化による財政健全化						●

## 3.2. 各意見の詳細

前項「意見の一覧」の詳細について、それぞれ以下に記載します。

※タイトルに加え、【】及び()の内容は、当日の議論をもとに、事務局にて補記しております。

### <1班:地域と経済>

#### ①地域活性化のための企業誘致

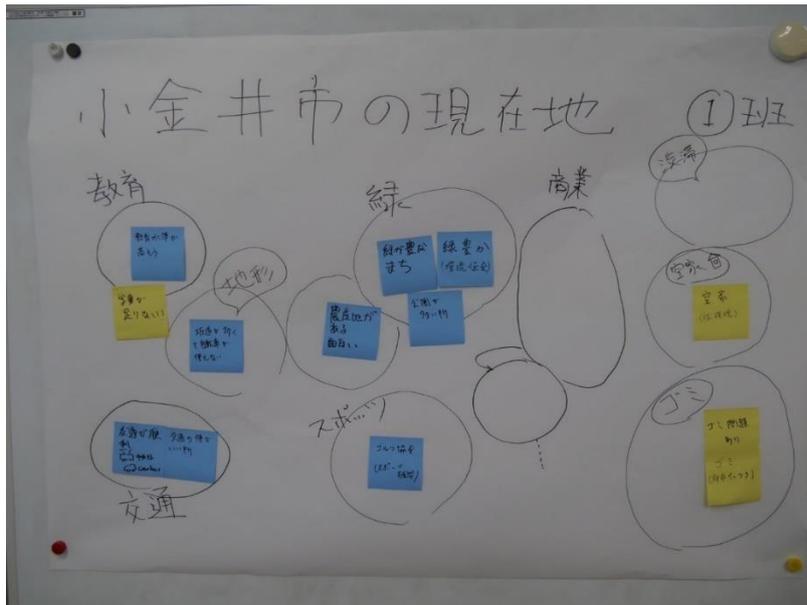
課題	<b>【賑わい不足】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の流れが少ないため、商業が充実しない。</li> <li>・東小金井駅前に賑わいが欲しい。</li> <li>・東小金井にお店が充実していない。</li> </ul> <b>【産業不足】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業が少ないため、税収や人口が少ない。</li> </ul>
理想の未来	<b>【快適な生活が送れるまち】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすいだけでなく、働きやすいまち。</li> <li>・会社や学校がたくさんあり人の流れがあるまち。</li> </ul> <b>【税収が増え、潤ったまち】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人税収入が多いまち。</li> </ul>
課題解決に向けた「施策」	<b>【企業誘致】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を誘致する。</li> </ul>

#### ②人気向上のためのイベント開催・情報発信

課題	<b>【市の存在感の薄さ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・存在感が薄く、人が小金井市に来ない。</li> </ul>
理想の未来	<b>【住民や観光客が多いまち】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者が増える。</li> <li>・ほかの市や区の方、外国人観光客が遊びに来てくれる。</li> <li>・若い人が増え、子どもがたくさんいるまちになってほしい。</li> </ul>
課題解決に向けた「施策」	<b>【イベント開催・情報発信】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園等を活用し学生を集めた音楽フェスやアートフェスを行う。</li> <li>・市の存在感を高め、人気を上げるために、広告の充実や発信を行う。</li> </ul>

#### ③交通環境の整備と景観向上

課題	<b>【景観の魅力不足】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観が良くない。(見晴らしが悪い。)</li> <li>・地域格差がある。(駅によって駅前の充実度に差がある。)</li> </ul> <b>【交通環境の悪さ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通環境が悪い。(道幅が狭い。ガードレールが少ない。)</li> <li>・右折信号の時間が長い。</li> </ul>
理想の未来	<b>【きれいな街並み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観の向上。(交通環境が整備されたきれいな街並み。)</li> </ul>
課題解決に向けた「施策」	<b>【土地の有効活用】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地を有効活用する。</li> <li>・景観条例の強化。(緑化促進や広告物の制限など)</li> </ul>



図表 14 発表用模造紙(1班①)



図表 15 発表用模造紙(1班②)

<2班:子どもと教育>

①施設運営の工夫による学校環境の改善

<p><b>課題</b></p>	<p>【施設環境の整備不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ(が汚い。)</li> <li>・小学校のグラウンド整備(が行き届いていない。)</li> <li>・長期休みに過ごせる室内の場所がない。</li> </ul> <p>【部活の種類不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の部活の選択肢が少ない。</li> </ul> <p>【教員の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塾ありきの受験。(塾が進学に必要な要件となっている)。</li> <li>・いじめや不登校への個別対応の難しさ。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【開かれた学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた学校。(学校運営に地域の意見が反映される。地域資源を教育活動に活用できる。)</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【稼ぐ学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども運営。(子どもの意見を学校運営に反映させる機会を作る。)</li> </ul> <p>【施設の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブ(を充実させる。)</li> <li>・学校内に公民館(を建てる。)</li> <li>・シニアの居場所と子どもの居場所を一緒にする。</li> <li>・公園の規則をゆるやかにする。</li> </ul>

②地域との交流増加によるつながり強化

<p><b>課題</b></p>	<p>【コミュニティ不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代が交わる場所がない。</li> <li>・親同士のつながりがない。</li> </ul> <p>【親へのサポート不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親が相談する場所がない。</li> <li>・若いワーママ・ワーパパの余裕のなさ。</li> <li>・シングルマザー・シングルファザーの暮らしに余裕がない。</li> <li>・親が休む権利がない。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【教育でつながるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育で大人も子どももつながるまち。</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【地域住民との交流機会の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブシニアの力を活かす。</li> <li>・大人のサークル(を設立する。)</li> <li>・スポーツ・文化大会(を開催する。)</li> <li>・大学生など学生との対話(の場を作る。)</li> <li>・大学の多さと街のコンパクトさを利用した大学と連携したまちづくり。</li> </ul>



図表 16 発表用模造紙(2班①)

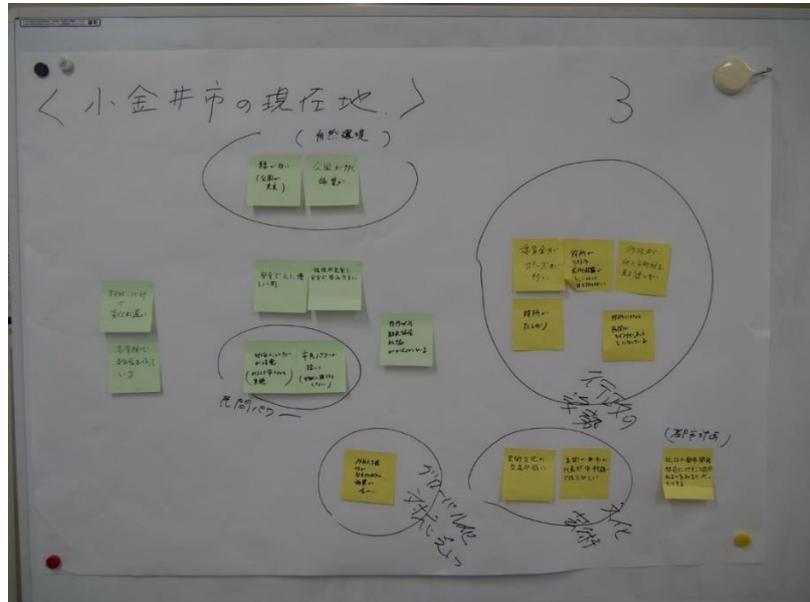


図表 17 発表用模造紙(2班②)

<3班:多文化共生>

①異文化交流の促進による外国人にも優しいまちづくり

<p><b>課題</b></p>	<p>【行政による外国人支援の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校での外国人児童・生徒の)実態把握や外国人が相談できる窓口が不足している</li> <li>・行政が実態認識をしていない。(例えば、)外国人の子どもが学校に増えているが対応できていない。</li> <li>・学校に増えている外国人への日本語支援が行き届いていない。</li> </ul> <p>【外国人とのコミュニケーション不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境の違いとコミュニケーション不足によるトラブルの懸念(がある。)</li> <li>・他文化人とのコミュニケーション不足。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【外国人にも優しいまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人も住みやすいまち。(多様な人を受け入れることで日本人にとっても住みやすいまち。)</li> <li>・文化交流により(外国人への)理解が深まったまち。</li> <li>・外国人が地域住民の一員として防災や教育にも関わるまち。</li> <li>・(外国人を含めた)人同士でのやり取りがあるまち。</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【異文化交流の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化交流を促進して、外国人を地域の一部としてみなし、市の計画等に外国人の視点を入れる。</li> <li>・優しい日本語での情報提供。(平仮名活用や難解語句の言いかえなど。)</li> </ul> <p>【外国ルーツの子どもたちへの教育支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(外国ルーツの)子どもたちへの日本語指導の充実。</li> <li>・外国ルーツの子ども支援のモデルケースを参考にする。</li> </ul>



図表 18 発表用模造紙(3班①)



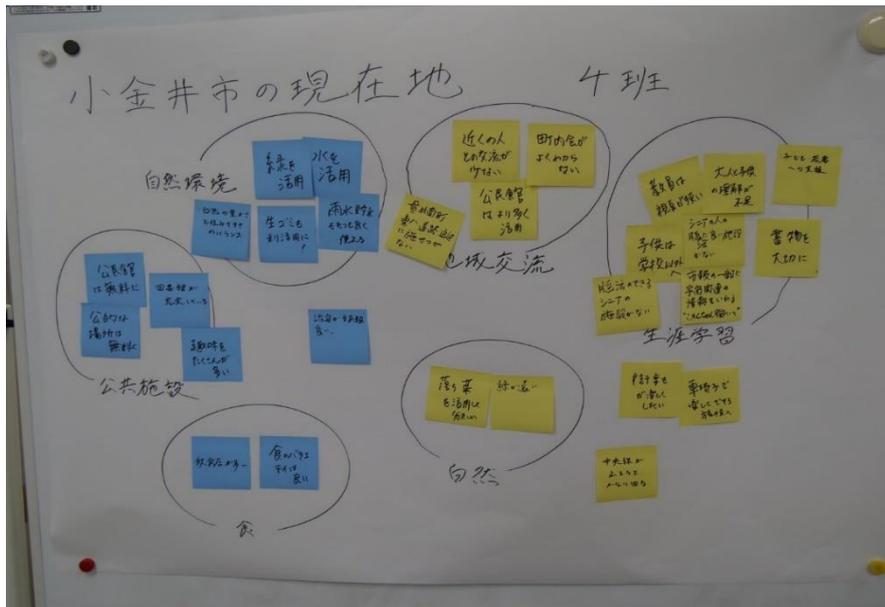
<4班:文化と生涯教育>

①地域コミュニティの活用による学び場づくり

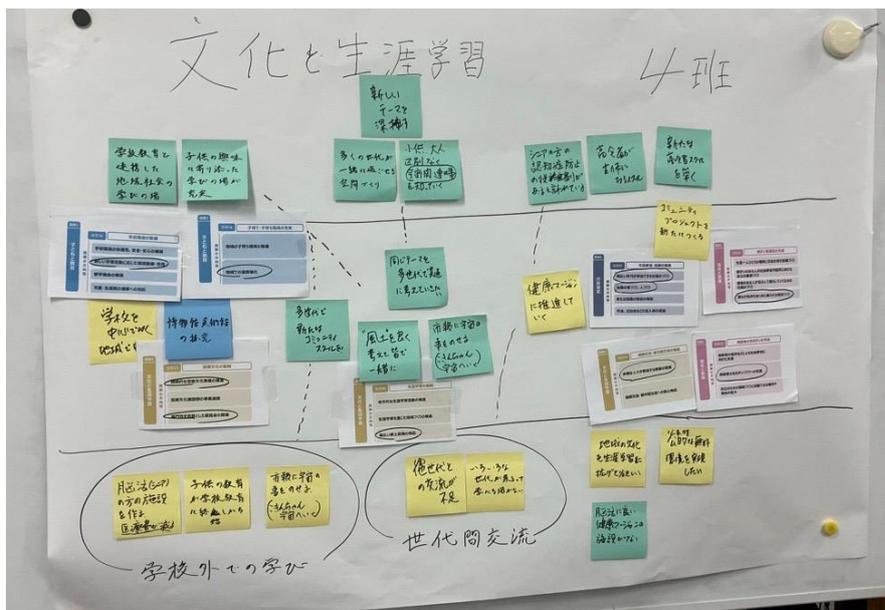
<p><b>課題</b></p>	<p>【高齢者の学び場の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(シニアの)脳活のための施設がない。</li> <li>・公民館などの公的な無料環境が少ない。</li> </ul> <p>【子どもの学び場の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの教育が学校教育に終始しがち。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【高齢者の学び場が充実したまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな高齢者スクールを築く。</li> <li>・シニアの方の認知症防止をする。</li> </ul> <p>【子どもの学び場が充実したまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育と連携した地域社会の学びの場(があるまち。)</li> <li>・子どもの興味に寄り添った学びの場が充実(しているまち。)</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【高齢者の学びの場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティプロジェクトを新たに作る。(地域カフェやシニアサロンなど。)</li> <li>・健康麻雀を推進する。</li> </ul> <p>【施設の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を中心に地域で利用できる施設を利用する。</li> <li>・博物館・美術館の拡充。</li> </ul>

②世代共通の学習テーマの発掘による交流促進

<p><b>課題</b></p>	<p>【世代間交流の場の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他世代との交流が不足している。(共通の話題・テーマがない。)</li> <li>・いろいろな世代が集まって学べる場がない。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【世代間での交流の場が充実したまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの世代と一緒に過ごせる空間づくり。</li> <li>・子ども、大人に区別なく宇宙関連のことを知っていく。</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【世代共通の学習テーマの発掘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じテーマを多世代で共通に考えていく。</li> <li>・新しいテーマを探す。(多くの世代が関心を持って交流できるテーマづくり。)</li> <li>・多世代が参加できる新たなコミュニティスクール(を作る)。</li> <li>・市報に宇宙のことを載せる。(こきんちゃんと絡めて、宇宙等の最新トピックについてのコラムを載せる。)</li> </ul>



図表 20 発表用模造紙(4班①)



図表 21 発表用模造紙(4班②)

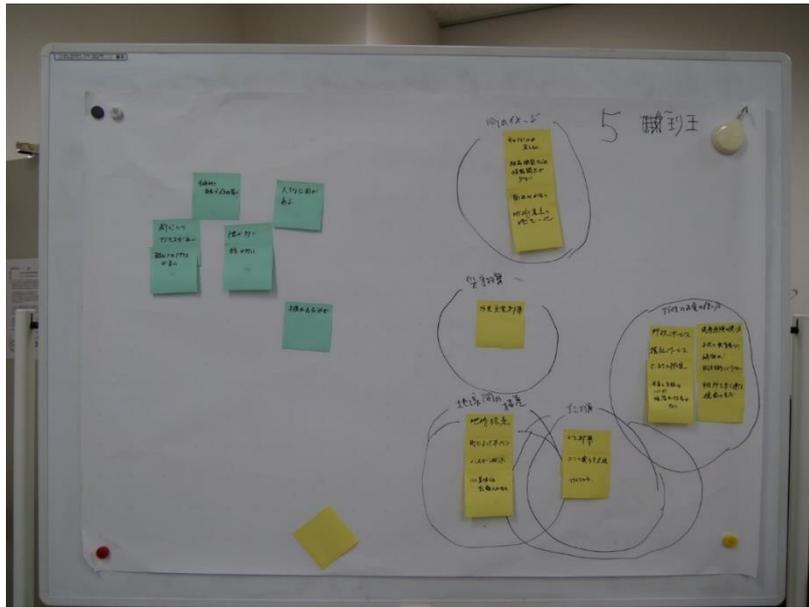
<5班:行政運営>

①税収増加による行政サービスの向上

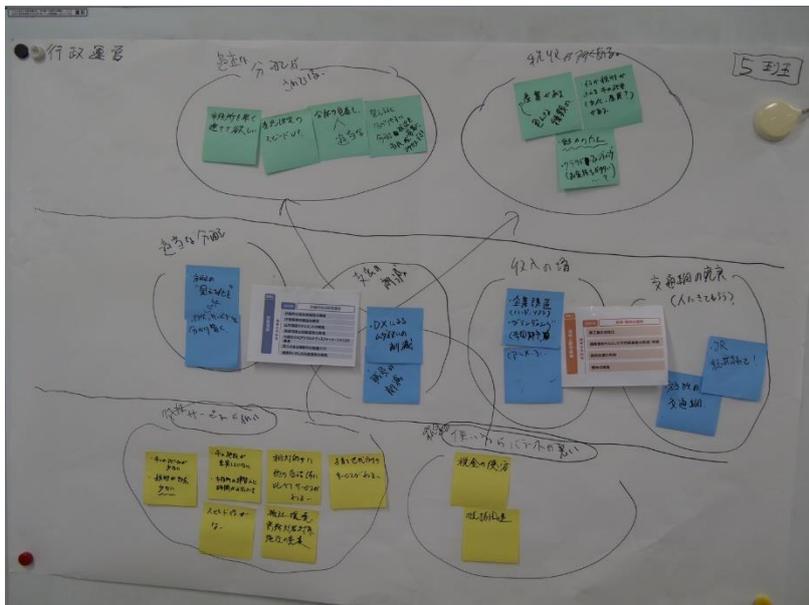
<p><b>課題</b></p>	<p>【行政サービスの低さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代向けのサービスが悪い。</li> <li>・相対的に他の自治体に比べてサービスが悪い。(ごみ焼却場がない。役所の出張所がない。)</li> <li>・福祉環境や高齢者対策施設が少ない。</li> <li>・税収が少ない。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【税収の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな種類の産業があるまち。</li> <li>・市の税収が増加に寄与する施設・文化・産業のあるまち。</li> <li>・多くの人を訪れるまち。</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【市の魅力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致。</li> <li>・学園都市やアニメなどでのブランディング(を実施する)。</li> <li>・クラウドファンディング(を実施する)。</li> </ul> <p>【交通網の充実による人流増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 総武線(を延線する。)</li> <li>・複数の交通網をつくる。</li> </ul>

②分配(ヒトモノカネ)の見える化による財政健全化

<p><b>課題</b></p>	<p>【不透明な税金使途】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の使い方のバランスが悪い。</li> <li>・スピード感がない。</li> </ul>
<p><b>理想の未来</b></p>	<p>【分配の見える化による市民に開かれたまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分配の見える化。(ヒトモノカネの分配を見える化する。)</li> <li>・適切な分配の見直し。</li> </ul>
<p><b>課題解決に向けた「施策」</b></p>	<p>【分配状況の公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分配状況を市民が容易にアクセスできる(ように市報や市のホームページ等で公開する。)</li> </ul> <p>【行政の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定のスピードアップ。</li> <li>・DXによる無駄遣いの削減。</li> <li>・職員の削減。</li> </ul>



図表 22 発表用模造紙(5班①)



図表 23 発表用模造紙(5班②)

## 4. 参考資料

### 4.1. 集合写真

ワークショップの最後に、参加者で記念撮影を行いました。



図表 24 集合写真

### 4.2. グラフィックレコーディング

今回のワークショップでは、グラフィックレコーディングという技法を用いて、ワークショップで出た意見を記録しました。



図表 25 グラフィックレコーディング

### 4.3. 募集チラシ

今回のワークショップに向けて、以下チラシを用いて参加者を募集しました。

# 市民懇談会

## 〜みんなで創る「こがねい」の未来〜

**「こがねい」の未来について  
あなたのご意見をお待ちしています!**

小金井市では基本構想における本市の将来像を実現するため、後期基本計画（令和8年度～令和12年度）を策定しています。市民のみなさんと一緒にまちづくりを進めるために、将来のまちの姿と一緒に考えていただける方を募集しています。お気軽にご応募ください。

**2024年  
10月26日 | 土 |  
13:00-16:00**

小金井市 市民会館 萌え木ホール  
東京都小金井市前原町3丁目33-25

**内容（テーマ）**

話し合いは2ステップ

1. 市の良いところや改善点を話し合おう
2. 市の「課題」と「理想の未来」をもとに必要となる「施策」を考えよう

**対象者**

市内在住・在勤・在学の18歳以上（10月26日当日時点）の方

**申込方法**

- ・市申込フォーム
- ・電話・FAX・窓口（以下問い合わせ先を参照ください。）

※FAXの場合は、住所、氏名、年齢、電話番号又はメールアドレスをご記載ください。

**申込期限** 2024年10月11日 | 金 | まで **定員** 40人（多数抽選）

**主催者** 小金井市  
**問合せ先** 小金井市企画財政部企画政策課  
TEL: 042-387-9800 FAX: 042-387-1224 窓口: 市役所本庁舎2階

・手話通訳・保育のご希望は申込時にご連絡ください。  
・内容及び終了時間は一部変更となる可能性があります。

図表 26 募集チラシ